

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C	令和6年3月13日
横断的な課題	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保					
地域重点政策	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保					木曽地域振興局
実施機関	木曽青峰高等学校			担当課	所属	木曽青峰高等学校
事業名	木曽青峰高等学校森林環境科広報活動推進事業				電話	0264-22-2119
					E-mail	<a href="mailto:seiho-hs@pref.nagano.lg.jp">seiho-hs@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要	目的 (目指す姿)	・地域の林業・木材産業の振興に必要な実践力の高い人材育成を進め、木曽地域において、全国に誇る森林資源を活かした林業・木材産業を中心とした地域づくり、林業・木工関係の学校等の集積を活かした人材づくりが行われることを目的とする。				
	現状と課題	・木曽地域は、林業大学校、上松技術専門校、木曽青峰高等学校という林業・木工関係の学校等が集積しており、各校で森林を守り、育て、利用する学習や訓練等に取り組む中、より多くの人材が地域へ定着することが期待されている。 ・このようなことから、3校連携をはじめ、産学官連携を深め、人材の確保や技術の向上等林業・木材産業の後継者対策を推進する必要がある。 ・木曽青峰高等学校森林環境科は、森林資源の活用や環境保全についての専門的な知識や技術の習得ができる県内唯一の学科であり、長野県内から生徒を募集し木曽地域の林業を支える人材を輩出しているが、入学者数が令和3年131名、令和4年109名、本年度108名と減少している状況である。 ・そこで、今後は長野県内だけでなく全国から生徒を募集するための研究中であり、ホームページでより広く、木曽青峰高等学校森林環境科を知ってもらうために広報活動に力を入れる必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	①進学を考えている中学生が必要とする情報によりアクセスしやすいようにホームページを刷新し、PC版とスマートフォン版で切り替えられるものとする。 ②「森林環境科」について、知りたい情報が検索しやすく、また直ぐに見ることができる分かりやすい構成とする。 ③ホームページ担当者以外の権限を持つ教職員が自分のPCから情報を掲載できるように取り扱いやすいようにする。 ④森林環境科を紹介する広報誌を作成し(改修後のホームページのURLも紹介)、県内中学校へ配付する。(県内中学校約200校へ1校あたり25枚程度配付)				
	事業期間	令和5年10月		～	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	学校ホームページの更新	ホームページ改修手数料	30,800	業者見積りによる		
	学校広報誌の作成	A4サイズ 両面カラー刷	36,300	5,000枚×@6.6×1.1		
	合計	67,100				
指標状況及び達成	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	学校ホームページの閲覧数(令和6年1月～3月)		2,500回	約800回	○ 達成 ○ 一部達成 ● 未達成	
				(旧ホームページ実績 令和6年1月～3月)		
事業実績・成果	・新ホームページの作成にあたり、校内での運営等について関係部署内で検討、調整を行い、業者との打ち合わせを重ねたが、森林環境科のピーアールページ等の内容検討ほか、校内での運営方法の周知に時間がかかり、新ホームページ公開を、当初は令和6年1月からとしていたところ、令和6年4月からとした。 ・新ホームページでは、PC版とスマートフォン版で切り替えられるなど、より進学を考えている中学生がアクセスしやすくなり、森林環境科の全国募集を目指す上で、有用なツールの1つとなった。 ・また、すべての職員がホームページに常時情報を掲載できるようになり、情報公開する量、質の向上が見込まれる。 ・その他、森林環境科の紹介を含む学校広報誌を作成し県内中学校へ配付した。将来の進路選択の一つとしてもらえるよう有効活用を期待している。					
今後の方向性	・学校広報誌での新ホームページのPRを推進し、閲覧数の向上を目指していきたい。木曽青峰高等学校の魅力を発信し、より多くの生徒を募集できるようにしていきたい。 ・また、新ホームページの閲覧数など、森林環境科の全国募集に向けた研究にも役立てていく。					